

一関学院が甲子園出場



8年ぶり6度目 オレたちの夏、夢の舞台へー



- ① 決勝で盛岡大付に快勝し、喜びに沸くナイン
- ② 優勝を決め抱き合うバッテリー
- ③ 好走塁で本塁を陥れ、喜ぶ菅原選手
- ④ 好プレーに沸き、声援を送る応援団
- ⑤ 高橋投手の気迫のこもった投球練習
- ⑥ 暑い日差しの下、「打って勝つ」ためにバットを振り込む選手



第92回全国高校野球選手権岩手県大会は7月26日、盛岡市の県営球場で決勝を行い、ノースードから勝ち上がった一関学院が8・2でセンバツ出場の盛岡大付を下し、8年ぶり6度目の甲子園切符を手中にしました。昨年の秋季県大会優勝の一関学院は、今大会ノースードで2回戦から登場。最初は硬さが目立つ試合運びだったものの、勝ち進むにつれ調子は向上きに。準々決勝では水沢を完封、準決勝では昨夏の準優勝校盛岡一をコールドゲームで下し、波に乗りました。決勝では「打って勝つ」の合言葉とおり打線が爆発。主将宮本涼(3年)の2点適時打で2点を先制。その後も機動力もからめ、盛岡大付の左右投手陣から15安打8点を奪う猛攻を見せました。守っては、主戦の左腕高橋貴浩(3年)が7回途中まで4安打2失点の粘投。救援した右腕沼田健人(2年)も2安打無失点と好投。バックも無失策と支え、参加74校の頂点に立ちました。

7月28日、小野寺佳代子校長と高橋滋部長、沼田尚志監督、宮本涼主将の4人は、市役所を訪れ、勝部市長に甲子園出場決定を報告。勝部市長は「地震からの復興、川崎花火大会の復活、一関学院の甲子園復活など。今年には市にとって特別な年。甲子園でのさらなる活躍を期待したい。おおいに暴れてきてほしい」と激励しました。

沼田監督は「1年間自主的に頑張ってきたことを素直に出して、本気で日本一を狙ってほしい」と語り、宮本主将は「県大会では最後まであきらめずにみんなで勝利に向かっていけた。野球を楽しみ笑顔で打ち勝つ野球を全国に見せつきたい」と決意を新たにしています。

全国大会は8月7日、阪神甲子園球場で開幕します。(大会の写真は右手日新聞社の協力をいただきました。)

県大会の戦績

【2回戦】

| | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一関学院 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 一戸 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(投) 高橋—沼田

【3回戦】

| | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一関学院 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 7 |
| 軽米 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 4 |

(投) 増田—嶋村—高橋—沼田

【4回戦】

| | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一関学院 | 0 | 0 | 5 | 0 | 3 | 1 | 0 | 9 |
| 盛岡工 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(投) 高橋(7回コールド)

【準々決勝】

| | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一関学院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 水沢 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(投) 高橋—沼田

【準決勝】

| | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一関学院 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 9 |
| 盛岡一 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |

(投) 高橋(7回コールド)

【決勝】

| | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一関学院 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 8 |
| 盛岡大付 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |

(投) 高橋—沼田



全国大会での活躍を誓い、勝部市長(右)と握手を交わす宮本主将

| | |
|-------|-----------|
| 昭和22年 | 野球部創部 |
| 昭和49年 | 『夏の甲子園』 |
| 昭和61年 | 第56回大会 |
| 昭和62年 | 第68回大会 |
| 昭和64年 | 第69回大会 |
| 平成4年 | 第74回大会 |
| 平成14年 | 第84回大会 |
| 平成18年 | 『春の選抜甲子園』 |
| 平成20年 | 第78回大会 |
| 平成22年 | 第80回大会 |

一関学院高野球部
甲子園出場の歴史

※平成4年の大会までは一関商工高として出場



宮本涼主将(3年)

昨年夏の初戦敗退の翌日にミーティングを行い、自分たちで「打って勝つ」を合言葉に決めました。

目標は日本一になること。甲子園では、学院の「打って勝つ」野球を全国に見せつきたいと思います。

野球を楽しみ、チーム全員が笑顔で頑張ってきます。



沼田尚志監督

8年ぶり、ようやく優勝することができました。

負けが続いていたが、市民の皆さんにはいつも温かい応援をいただき感謝しています。

自分たちで考え、自主的に頑張ってきた選手。甲子園で勝ち上がり、本気で日本一を狙って頑張った成果を出してもらいたい。

県大会ベンチ入りメンバー

| 背番号 | 氏名 |
|-----|--------------|
| 1 | 高橋貴浩(3・一関) |
| 2 | 荒木俊樹(3・大船渡) |
| 3 | 菅原瑛真(3・千厩) |
| 4 | 宮順之介(2・北松園) |
| 5 | 松田惇(2・築館) |
| 6 | 宮本涼(3・東水沢) |
| 7 | 小笠原晶久(2・見前南) |
| 8 | 榎本大輝(3・大船渡) |
| 9 | 佐藤大輝(2・桜町) |
| 10 | 増田亮介(3・花泉) |
| 11 | 嶋村拓郎(2・気仙) |
| 12 | 浅沼竜磨(2・宮守) |
| 13 | 小山田拳也(3・花泉) |
| 14 | 佐藤敬太(2・船迫) |
| 15 | 佐藤琢耶(2・大船渡) |
| 16 | 安彦勇(3・前沢) |
| 17 | 沼田健人(2・東仙台) |
| 18 | 百井淳平(2・下橋) |
| 19 | 蛇口由将(3・下小路) |
| 20 | 九島匡平(2・大館東) |

※敬称略。()内は学年・出身中